

平成29年度
志木市予算及び事業概要説明

市民力でつくる

未来へ続くふるさと 志木市

～ずっと住み続けたい、住んでみたいまちをめざして～

目 次

I	平成29年度当初予算について	1
1	財政環境と予算編成の基本的な考え方	1
2	予算規模	4
II	平成29年度 事業概要	5
III	平成29年度 一般会計の概要	22
1	歳入	22
2	歳出（目的別）	23
3	歳出（性質別）	24
4	主な増減	25
	(1)歳入	
	(2)歳出（目的別）	
	(3)歳出（性質別）	
IV	平成29年度 特別会計・企業会計の概要	29
1	特別会計・企業会計の予算概要	29
	(1)特別会計	
	(2)企業会計	
	(3)各会計への一般会計からの繰出状況	
2	特別会計の概要	30
3	企業会計の概要	32
	(1)水道事業会計	
	(2)下水道事業会計	

I 平成29年度当初予算について

1 財政環境と予算編成の基本的な考え方

本市を取り巻く財政環境としては、歳入面では、マンションの建設などに伴う個人市民税納税義務者数の増などにより、平成29年度は市税収入の増加を見込んでおります。

また、国の平成29年度地方財政対策では、地方税や地方譲与税などの地方一般財源総額については社会保障の充実分を含め、前年度を上回る額が確保されるものとなりました。しかしながら、地方交付税については、公共施設等の適正管理や一億総活躍社会の実現に取り組むための歳出が確保されたものの、平時モードへの切替えを進めるため、同額が歳出特別枠から減額されるなど、対前年度比で0.4兆円の減となったことから、引き続き慎重にその動向を見極めていかなければならない状況にあると考えております。

歳出面では、超高齢社会の進展に伴う医療・介護関係経費や年々増え続ける保育需要に対応するための保育園・学童保育クラブ関係経費など、社会保障費の増加は避けて通れない状況となっております。また、公共施設や道路・上下水道などのインフラの老朽化に伴う維持補修経費については、今後も多大な財政負担が見込まれることから、財政運営における大きな課題となっているところであります。

このような財政環境の中、予算編成に当たりましては、これらの課題に対処するため、「これまで実施してきた事業について総括を行うとともに、市民の喜びにつながる事業を検討すること」、「事業判定会及びサマレービューの結果、職員提案を踏まえた予算とすること」、「国・県補助金の積極的な活用等により一般財源の持ち出しを減らすこと」、「全国に志木市の取組を発信することを念頭に、志木市将来ビジョンにて掲げるまちの将来像の実現に向け、志木市戦略プロジェクトを具現化する事業を計上すること」、「所期の目標を達成した事業、民間で対応可能な事業、事業開始後長年経過している事業、費用対効果の低い事業等については、廃止、再構築を前提に見直しを行うこと」の5点を基本的な考え方とし、効果的な財源の配分に努めたところであります。

この結果、平成29年度の予算案の規模は、
一般会計

232億2,800万円（対前年度比5.1%増）

特別会計

138億4,452万5千円（対前年度比0.4%増）

企業会計

4 7 億 8, 4 6 1 万 8 千 円 (対前年度比 6. 6 % 減)

合 計

4 1 8 億 5, 7 1 4 万 3 千 円 (対前年度比 2. 0 % 増)

となりました。

一般会計については、民生費が対前年度比でおよそ 1 3 億 2, 0 0 0 万円の増額となったことなどに伴い、予算総額は、対前年度比でおよそ 1 1 億 2, 0 0 0 万円の増額となりました。

歳入面では、歳入の根幹を成す市税の予算額は対前年度比 1. 6 % の増、総額でおよそ 1 0 6 億 7, 0 0 0 万円を見込んでおります。

個人市民税は、大型マンションの建設などに伴う人口の増加により、納税義務者数を 1, 0 0 0 人程度の増、およそ 3 7, 7 0 0 人と見込むとともに、景気が緩やかな回復基調を維持していることから、対前年度比 2. 5 % の増、5 0 億 7, 4 3 6 万 4 千円と見込んでおります。

法人市民税は、総じて緩やかな回復基調を維持しているものの、個人消費の弱さや海外経済の不透明感などによる影響が懸念されており、対前年度比 0. 6 % の微増とし、4 億 4, 6 6 2 万 4 千円と見込んでおります。

固定資産税は、土地価格の下落が見られないことから横ばい、家屋は評価の据置年度であるため、新築・増築分を増加とし、対前年度比 1. 1 % の増、4 0 億 9, 1 1 0 万 9 千円と見込んでおります。

都市計画税は、固定資産税と同様に家屋の新築・増築の増加分を見込み前年度比 3. 0 % の増、6 億 4, 0 4 1 万 9 千円と見込んでおります。

軽自動車税は、軽四輪乗用車の登録台数の増加により、対前年度比 1. 6 % の増、6, 7 6 9 万 1 千円と見込んでおります。

市たばこ税は、紙巻きたばこ三級品の税率を段階的に引上げるものの、近年の健康志向の高まりから、毎年、成人喫煙率が減少しており、対前年度比 5. 9 % の減、3 億 0, 7 3 0 万 8 千円と見込んでおります。

普通交付税は、国の平成 2 9 年度地方財政対策における、地方交付税総額が対前年度比で 2. 2 % の減とされたものの、本市における交付状況の推移を踏まえ、対前年度比 1 3. 6 % の増、1 2 億 5, 0 0 0 万円と見込んでおります。

国庫支出金は、袋橋耐震補強等工事及び宮戸橋耐震補強工事の完了に伴う国庫補助金の減などにより、対前年度比 1. 3 % の減、3 4 億 5, 8 3 6 万 3 千円と見込んでおります。

市債は、総合福祉センター大規模改修工事、柳瀬川図書館大規模改修工事、富士下橋耐震補強等工事などを実施することにより、対前年度比 3 5. 0 % の増、2 0 億 1, 9 0 0 万円と見込んでおります。

繰入金は、財政調整基金からの繰入を対前年度比 2 3. 1 % の増、1 4 億 8, 7 7 9 万 5 千円としたことから、全体として対前年度比 2 5. 8 %

の増、17億2,269万3千円と見込んでおります。

これによりまして、平成29年度当初予算取崩し後の財政調整基金残高は、およそ9億8,000万円と見込んでおります。

歳出面につきましては、志木市将来ビジョン（第五次志木市総合振興計画 将来構想）で掲げたまちの将来像の実現をめざし、施策の大綱に沿って、「Ⅱ 平成29年度事業概要」に掲載しています。

2 予算規模

(1) 一般会計

232億2,800万円 (前年度当初比 5.1%増)

(前年度当初 221億1,100万円)

《一般会計予算規模の推移(当初予算比)》

(単位：千円・%)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
予算額	22,354,000	20,954,000	21,719,000	22,111,000	23,228,000
増減率	14.7	▲6.3	3.7	1.8	5.1

(2) 全会計合計(一般・特別・企業会計)

418億5,714万3千円 (前年度当初比 2.0%増)

(前年度当初 410億2,630万4千円)

《全会計予算規模の推移(当初予算比)》

(単位：千円・%)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
予算額	39,417,703	37,806,971	40,123,425	41,026,304	41,857,143
増減率	8.1	▲4.1	6.1	2.3	2.0

Ⅱ 平成29年度 事業概要

志木市将来ビジョン施策大綱

1 市民力が生きるまちづくり

- 1-1 子育てしやすいまちづくり
- 1-2 地域ぐるみで子どもたちを育むまちづくり
- 1-3 高齢者がいきいき暮らすまちづくり
- 1-4 市民が協働するまちづくり
- 1-5 一人ひとりが輝くまちづくり

新 しきっ子あんしん子育てサポート事業

- ・ 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

【健康増進センター・子ども家庭課】 7,224 千円

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を目指し、妊娠届出時に、すべての妊婦と保健師・助産師の専門職が面接相談を行い、妊娠中から継続的に見守りや相談を実施します。

- ・ 育児サポート事業 【健康増進センター】 1,701 千円

産後間もなく、家族等からのサポートが得られず、赤ちゃんの世話に不安があり、体調がすぐれないなど、育児が困難な母親を対象に、一部自己負担をいただき、ヘルパーや保育士・助産師が自宅を訪問し、育児のサポートを実施します。

- ・ はじめて赤ちゃん学級 【健康増進センター】 ゼロ予算事業

育児に関する知識の習得や親子同士の交流を図ることを目的として、生後2～3か月の第1子を持つ親子を対象に、志木市の子育てサービスの紹介や予防接種の受け方、赤ちゃんの救急などを内容とした育児学級を実施します。

- ・ 産後うつケア推進事業 【健康増進センター】 650 千円

産後うつを予防するため、助産師による赤ちゃん訪問時にリスク評価を行い、産後うつが心配される母親を適切な支援や医療につなぎます。

- ・ 早期の不妊検査費・治療費の助成 【健康増進センター】 4,000 千円

妻の年齢が43歳未満の夫婦を対象に、不妊検査費への助成及び県が行う特定不妊治療費助成において、妻の年齢が35歳未満の夫婦を対象に初回治療時に上乗せ助成を実施します。

- 新** 保育ステーションの開設 [子ども家庭課] 17,982 千円
 志木駅東口駅前の民間保育施設でお預かりしたお子さんを、保育園などに送迎することにより、利便性の向上を図ります。
- 新** 小・中学校コミュニティ・スクールの導入 [学校教育課] 689 千円
 宗岡第二中学校区（宗岡第二中学校、宗岡小学校、宗岡第三小学校）において、保護者や地域住民などで構成される「学校運営協議会」を設置し、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進めます。
- 新** 中学校生徒用机・椅子の一斉更新 [教育総務課] 6,654 千円
 老朽化した中学校の生徒用机・椅子の一斉更新を行い、快適かつ授業に集中できる学習環境の整備を図ります。
- 新** 宗岡小学校プールの改修 [教育総務課] 31,320 千円
 良好な授業環境を確保するため、宗岡小学校のプール改修工事を行います。
- 新** 宗岡第四小学校校舎の増築 [教育総務課] 16,000 千円
 宗岡第四小学校は、今後児童数の増加が見込まれ、普通教室の不足が生じることから、校舎を増築するための設計業務に着手し、平成30年度の竣工を目指します。
- 新** フッ化物洗口事業の拡大 [学校教育課] 501 千円
 むし歯ゼロをめざして、むし歯予防に効果のある「フッ化物洗口」の取組を、全小学校に加え、全中学校においても実施します。
- 新** 薬物乱用防止啓発の推進 [生涯学習課・福祉課] 350 千円
 志木市在住の俳優が映画監督となり、市内で撮影した映画を通して、薬物依存症の恐ろしさの現実を、より多くの人たちに知ってもらうことを目的に、青少年関係団体、福祉関係団体と連携を図りながら、薬物乱用防止の啓発のための上映会を開催します。
- 新** ごみの戸別訪問収集の開始 [環境推進課] 1,024 千円
 家庭ごみを集積所まで持ち出すことが困難な高齢者世帯等で、親族や近隣住民などの身近な人の協力が得られない場合に、自宅まで「可燃ごみ」、「不燃ごみ」及び「資源物」を週1回、決められた日に回収に伺う「ごみの戸別訪問収集事業」を実施し、高齢者の日常生活の負担軽減を図ります。

新 成年後見制度の利用の促進 [長寿応援課] 199 千円

成年後見制度の利用の促進に関する法律の制定を踏まえ、新たに成年後見制度利用促進審議会を設置し、これまでの取組を生かした市民後見人の育成や新たに権利擁護支援の地域連携ネットワークづくりなどに取り組みます。

新 高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の策定
[長寿応援課] 5,303 千円

高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画は平成29年度に計画期間の最終年度を迎えることから、地域包括ケアシステムを早期に構築するための取組などを盛り込み、第7期計画の策定を進めます。

新 子育てポータルサイトによる子育て世代のサポートの充実
[子ども家庭課] ゼロ予算事業

民間事業者による地域ポータルサイトを活用し、官民を問わず、子育て世代が知りたい地域情報をより見やすい形で発信することにより、さらなる子育て世代のサポートに努めていきます。

子育て支援拠点の拡充 [子ども家庭課] 1,278 千円

子育て世代が住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを進める一環として、本町5丁目のマンション1階に開設された「地域開放型コミュニティ交流ステーション“カフェ・シーズン”」内において、子育てに関する相談や情報提供などを行う「志木子育て交流サロン（ぷちまある）」を展開していきます。

民間保育園の拡充等 [子ども家庭課]（一部再掲） 1,859,756 千円

待機児童の解消に向け、新たに認可保育園を3園（ふりえ志木本町園、ひいらぎ保育園、こどもの家・志木中宗岡分園）整備することで、保育定員の拡大を図ります。また、子ども・子育て支援新制度に移行した民間保育園、幼稚園などが実施する延長保育、一時保育などに対して財政支援を行うことにより、施設の安定的な運営と保育環境の向上を図ります。

学童保育クラブの拡充 [子ども家庭課] 288,379 千円

年々増加する保育需要に対応するため、志木学童保育クラブ、志木第二学童保育クラブ、宗岡第二学童保育クラブ、宗岡第四学童保育クラブの定員を拡充します。

児童の体力向上の推進 [学校教育課] 1,467千円

各小学校で行われる体育の授業に体力向上指導員を派遣するとともに、「逆上がりができるぞ教室」・「なわとびチャレンジ教室」を開催し、小学生の基礎体力向上を図ります。小学校1校を体力向上重点校と位置付け、体育の授業を担当教員とともにティーム・ティーチングで行う体育授業サポーターを派遣します。

小・中学校ICT教育の拡充 [学校教育課] 32,635千円

全中学校の無線LAN環境を再構築するとともに、タブレット端末を各中学校に40台ずつ整備します。さらに、すべての小・中学校にICT推進員を派遣し、これまで整備した大型テレビや電子黒板ユニットなどのICT機器を積極的に活用した授業が行えるようサポート体制を整え、学力の向上を図ります。

しきステップアッププランによる少人数指導 [学校教育課] 29,859千円

基礎学力の定着と学力向上の要となる小学校4年生を対象として、通常教員に加え「しきステップアップ教員」を加配することにより、個々の習熟の程度に合わせたきめ細かい指導を行います。

部活動指導補助員の充実 [学校教育課] 640千円

専門的な指導を行うための外部指導者を派遣し、より高い水準の技能の習得を支援することにより部活動の活性化を図ります。

教員の授業力・教育の質の向上のための研修・研究 [学校教育課] 476千円

教員の授業力向上を図るため、すべての教員が12の教科等部会に分かれ、教材研究を行うとともに、小・中学校一斉授業研究会において研究成果を発表・共有します。

小中一貫教育の推進 [学校教育課] 1,112千円

志木第二中学校区（志木第二中学校、志木第二小学校、志木第四小学校）において、小学校入学から中学校卒業までの9年間の発達段階における段差のない一貫した教育を推進するため、中学校教員を小学校へ派遣するとともに、教育委員会と学校現場の推進組織を新たに立ち上げます。

放課後学習教室の拡大 [生涯学習課] 5,446千円

子どもたちの学習意欲と基礎学力の向上を図るために実施している放課後学習教室を、新たに志木第三小学校、宗岡第四小学校で開校し、6小学校に拡大します。教室では繰り返し学習を重視し、学習上のつまずきの解消のみならず、家庭などでの学習習慣の体得を見据えた事業を展開します。

中学校特別教室への空調設備の設置 [教育総務課]・繰越事業 80,964千円

中学校の特別教室に空調設備を設置し、授業及び部活動の環境改善を図り、学力・技術力の向上につなげます。

新しい介護予防・日常生活支援総合事業の開始と地域づくり

[長寿応援課] 81,400 千円

新しい介護予防・日常生活支援総合事業を4月から開始し、要支援1、2の事業対象者について、多様な訪問型及び通所型サービスを提供します。また、第1回目となる「いろは百歳体操」の発表会により、地域での活動を盛り上げ、さらなる周知を図り、地域での支えあいや介護予防活動を行う拠点づくりを推進します。

事業判定会の開催 [政策推進課]

165 千円

予算編成の段階から「市民感覚」を取り入れ、事業の改善や方向性を決定する際の参考とするため、より多くの市民が、事業担当課と企画・財政担当の議論を聞いたうえで、市の施策に意見を述べられる制度として、事業判定会を実施します。

町内会館等の改修補助 [市民活動推進課]

4,000 千円

町内会活動の活性化と基盤の強化を図るため、活動の拠点となる町内会館などの維持に係る改修工事に対する補助を行います。

第2期「地域担当制及び地区まちづくり会議」 [市民活動推進課]

7,399 千円

市民（地区住民委員）と市職員で組織する「地区まちづくり会議」第2期の2年目は、1年目で抽出・共有した地域の新しい課題の解決に向けた事業を実施します。

ふれあい館「もくせい」を活用した多世代交流の促進

[市民活動推進課・長寿応援課・子ども家庭課・生涯学習課] 15,539 千円

ふれあい館「もくせい」において、市民活動団体と市が協働で施設の管理運営を行うことで、日常的に子ども・子育て世代・高齢者などの多世代交流を図り、地域活性化及びコミュニティあふれるまちづくりを推進します。

志木市将来ビジョン施策大綱

2 市民を支える快適なまちづくり

- 2-1 健康に暮らせるまちづくり
- 2-2 福祉が充実したまちづくり
- 2-3 豊かな文化を育むまちづくり
- 2-4 スポーツを楽しむまちづくり

新 「おいしく減塩！『減らソルト』プロジェクト」の推進

[健康政策課・保険年金課・健康増進センター・子ども家庭課・

長寿応援課・学校教育課] 5,833千円

みんなで進める健康寿命日本一のまちづくりをめざし、新たに「減塩」をキーワードに、市民団体や民間企業などと連携を図りながら、すべての年代において減塩に関する健康づくり事業を展開します。平成29年度は、市民へ減塩の必要性を広く周知するため、「おいしく減塩！『減らソルト』フェスタ」の開催や、市庁舎や健康増進センターなどの公共施設に「いろは健康ポイント事業」の専用端末と連動した血圧計を設置するほか、公立保育園や小・中学校において定期的に減塩給食を実施します。

新 柳瀬川図書館の大規模改修 [柳瀬川図書館]

368,330千円

建設から24年が経過する柳瀬川図書館について、設備更新などを含めた大規模改修工事を実施します。また、休館期間中は臨時サービス窓口を開設して、新刊書や市内図書館の図書の予約貸出・返却サービスを行います。

新 志木市スポーツ推進計画の策定 [生涯学習課]

1,208千円

「いつでも、どこでも、だれでもスポーツが楽しめる夢のあるまちを」を基本理念として、市民アンケートを実施するとともに、スポーツ団体からも意見をいただきながら、すべての市民が日常的にスポーツに親しみ楽しむことができる計画を策定します。

新 キッズチャレンジスポーツ・チャレンジスポーツの開催

[生涯学習課] 800千円

スポーツ実施率の向上を図るため、さまざまなスポーツのエキスパートを招いて実施する体験・参加型のスポーツイベントを「志木市民スポーツに親しむ日」（6月第1日曜日）に開催し、市民がスポーツを始めるきっかけづくりの場を提供します。平成29年度は、成人向けチャレンジスポーツに加え、子どもたちが「やってみたい！」と興味を持つような、子どもたちのためのチャレンジスポーツを開催します。



スポーツ環境の整備 [生涯学習課]

10,000 千円

市民がスポーツを快適に楽しめるような環境の整備・充実を図るため、秋ヶ瀬運動公園のアクセス路の整備や市民体育館の弓道場の床の改修工事などを行います。

健康寿命のばしマッスルプロジェクトの拡充

[健康政策課・保険年金課] 45,114 千円

より多くの市民が健康寿命の延伸に取り組める環境を整備するため、いろは健康ポイント事業や健康になりまっする教室の参加者数の拡大を図るとともに、歩数ランキング機能の追加など、ポイント専用端末機能の拡充を行います。

第3回ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会

の開催

[健康政策課] 4,700 千円

いろは健康21プラン（第3期）の推進事業の目玉として、平成27年度より開催している「ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会」の第3回大会を5月21日（日）にいろは親水公園を中心に開催し、市民の健康増進を図るとともに、まちのにぎわいの創出につなげます。

生活習慣病重症化ハイリスク者に対する重点的な予防対策

[保険年金課] 5,451 千円

特定健診の健診データやレセプト（診療報酬明細書）の分析などにより糖尿病が重症化するリスクの高い方を抽出し、個別に受診勧奨を行い、医療へ結びつけることにより、早期治療に取り組める環境を整備します。また、個人の状況に応じた保健指導を行うことで、人工透析への移行を防止し、糖尿病重症化の予防を図ります。

民間事業所と連携したグループホームの整備 [福祉課]

ゼロ予算事業

福祉センター跡地等を活用し、障がいのある方が地域で生活するための民間事業者による障がい者グループホーム（※）の整備を進めます。

※障がいのある方が地域の中で家庭的な雰囲気のもとで共同生活を行う施設

民間事業者と連携した障がい者通所施設の整備 [福祉課]

ゼロ予算事業

障がい者が活動できる場を確保するため、三ツ木保育園跡地に民間事業者と連携して、通所の就労継続支援B型及び生活介護施設を整備します。

生活困窮者に対する総合的支援の実施・拡充

[福祉課・子ども家庭課] 31,247 千円

生活保護に至る前の段階にある生活困窮者に対し、就労支援や家計相談を行うことにより自立を支援するとともに、これらの家庭の子どもに対する学習支援や、離職などにより住居を失った、または失う恐れのある方に対する住居確保給付金の支給を行うなど、総合的な支援を実施します。

田子山富士塚の保存整備 [生涯学習課]

819 千円

年月の経過や東日本大震災により、盛り土の崩壊が進んでいた県指定文化財「田子山富士塚」の今後の保存を計画するための測量や報告書を作成するため、保存団体である「田子山富士保存会」に対して助成をします。

志木市将来ビジョン施策大綱

3 活力と潤いのあるまちづくり

- 3-1 地域産業が活発なまちづくり
- 3-2 魅力的なまちづくり
- 3-3 水と緑にあふれるまちづくり
- 3-4 地球環境にやさしいまちづくり
- 3-5 資源循環型のまちづくり

新 児童遊園地のトイレ改修 [都市計画課]

8,500 千円

都市公園以外の公園に設置されているトイレの改修を行い、市民誰もが快適に利用できる公園づくりを進めていきます。平成29年度は、クラブ中野児童遊園地のトイレを改修します。

新 落ち葉銀行の創設 [環境推進課]

209 千円

家庭等において清掃・収集した落ち葉・剪定枝を「銀行預金」としてみなし、本市で回収・堆肥化を図ったうえで、預金量に応じた「堆肥」を預金者にお返しする仕組みの「落ち葉銀行」を創設します。落ち葉・剪定枝を回収し、堆肥としてお返しすることで、ごみの排出量の削減を図ります。

新 いろは親水公園にぎわい事業

[市民活動推進課・産業観光課・都市計画課・生涯学習課]

62,278 千円

新河岸川と柳瀬川が合流し、貴重な資源であるいろは親水公園において、桜の開花時期をはじめ、通年にわたり本市の魅力となるようなさまざまなイベントを実施します。また、コミュニティ協議会など市民力を活用し、公園内の植栽を進めるとともに、舟運で栄えた本市の歴史を後世へ伝えていくことを目的に、和舟の購入費用を予算化し、魅力あふれる事業を観光協会と連携して実施します。

新 富士下橋の改修 [都市計画課] (再掲) 37,152 千円

富士下橋の耐震補強工事に合わせ、いろは親水公園のシンボルとなるよう、塗装や歩道照明の改修を行います。

新 富士吉田市との文化・観光交流の推進 [生涯学習課・産業観光課] 514 千円

世界文化遺産である富士山の構成資産、「吉田胎内樹型」をゆかりとする志木市と富士吉田市は、「富士吉田市・志木市 文化・観光交流協定」を締結し、市民レベルでの文化・観光交流を推進することで、交流人口の増加につなげます。

特定外来生物であるアライグマの捕獲 [環境推進課] ゼロ予算事業

アライグマによる農作物被害や家屋への侵入などの被害を防ぐため、市民等からの要請に応じて、無償により「箱ワナ」の設置と捕獲を行っています。今後も市民等との協力・連携により、生活環境の安全・安心の確保に努めていきます。

空き店舗活性化事業の充実 [産業観光課] 6,850 千円

市内の空き店舗情報を一元化した「空き店舗バンク」を充実させるとともに、起業者への家賃補助及び改装費補助を実施し、市内商店の元気と活気を創出します。

消費生活センターの推進 [産業観光課] 3,418 千円

多様化・複雑化する詐欺被害や、商品やサービスに対する消費者からの苦情や相談に対して、「消費生活センター」に専門の相談員を置き、公平な立場で問題解決やトラブルを未然に防止する対応に努めます。

頑張る農家支援事業 [産業観光課] 4,150 千円

付加価値の高い農産物の生産を支援することにより生産農家の収益性向上を図っていくため、県の特別栽培農産物(※)の認証を取得した特別栽培農産物の生産農家に対し、種苗や肥料などの資材購入に要する経費の一部を補助します。

※減農薬・減化学肥料で栽培された農産物

第2期「まちの担い手育成塾」[産業観光課] 700 千円

まちのにぎわい創出に向けた次代のリーダーを育成することを目的として創設した「まちの担い手育成塾」において、これまでの学びの成果を生かし、本市の観光資源や魅力を再発見するなど、まちのにぎわい創出につながる事業を実施します。

にぎわいのまちづくり創出事業への補助 [産業観光課] 3,500 千円

商工会や商店会、NPO法人が行うまちおこしイベントやにぎわいづくりのための新しい事業などに対して補助を行うことにより、まちのにぎわいを創出していきます。

観光PRキャラクターなどの活用 [産業観光課] 643 千円

観光PRキャラクター「いろは水輝（みずき）」「4式（ししき）ロボ」やご当地キャラクターなどを活用した観光PRを様々な場面で行います。また、観光PRキャラクターをCG化したVR（ヴァーチャルリアリティ）を、市内商業施設や志木市民まつり、埼玉県アニ玉祭等で、多くのみなさんに体験していただき、本市の魅力を市内外に積極的に発信します。

ロケーションサービスの拡充 [産業観光課] ゼロ予算事業

志木市を舞台とした映像を広く活用し、本市の魅力を市内外にPRをすることで、市のイメージアップにつなげるとともに、撮影場所を訪れる、いわゆる「聖地巡礼」をする観光客の集客にも結びつけます。

都市公園の安心・安全化のための改修 [都市計画課] 77,328 千円

都市公園安心・安全化計画に基づき、すみれ児童公園及び樋之詰児童公園のバリアフリー化などの改修工事を行い、市民誰もが安心して安全に利用できる公園づくりを進めていきます。

省エネルギー機器設置費補助の推進 [環境推進課] 2,950 千円

地球温暖化防止の一環として、温室効果ガス排出を抑制し、環境への負荷の少ないエネルギーの導入の促進を図るため、太陽光発電システム、エネファーム及びHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）設置者に対して補助金を交付することにより、低炭素まちづくりを目指します。

志木市将来ビジョン施策大綱

4 未来を支えるまちづくり

- 4-1 都市基盤を生かしたまちづくり
- 4-2 交通の利便性が高いまちづくり
- 4-3 安全で安心なまちづくり
- 4-4 災害に強いまちづくり

新 道路排水施設の改修【水害対策関連事業】 [道路課] 10,000 千円

低地部における浸水被害の軽減に向けて、高台地域に道路横断側溝の整備や斜路部の集水柵等の蓋交換を実施します。

- 新** MCA無線の導入【水害対策関連事業】 [防災危機管理課] 2,060千円
 台風や局地的な豪雨による水害発生時において、可搬式排水ポンプの運転や道路パトロール、交通規制、バリケードの設置、福祉避難所などの現場と災害対策本部との連絡手段を確保するため、現在使用している移動系防災行政無線に加え、MCA無線を導入します。
- 新** 土のうBOXの設置【水害対策関連事業】 [防災危機管理課] 2,452千円
 台風や集中豪雨時における道路冠水や家屋の浸水対応策の一つとして、土のうBOXを設置し、災害時に地域の方が土のうを迅速に活用できる環境を整えることで、水害対策の強化を図ります。
- 新** 館第二排水ポンプ場協調整池の改修【水害対策関連事業】 [道路課] 6,966千円
 低地部における浸水被害の軽減に向けて、可搬式ポンプによる排水機能の向上を図るため、館第二排水ポンプ場協調整池の改修を行います。
- 新** 樋管ゲート操作盤の改修【水害対策関連事業】 [道路課] 20,337千円
 下宗岡1丁目樋管及び樋之詰樋管のゲートについて、豪雨時における水害対策として、現行の手動式から自動でゲートの開閉ができるよう操作盤の改修を行います。
- 新** 館第一排水ポンプ場の耐震化 [下水道施設課] 24,000千円
 地震による被害に備えるため、雨水・汚水ポンプ場施設の耐震化を計画的に実施し、被災時における対象区域の市民生活への影響を最小限に抑えるため、平成28年度に実施した耐震診断の結果を踏まえ、耐震工事の実施設計に着手します。
- 新** 赤野毛排水路整備の促進【水害対策関連事業】 [道路課] 1,061千円
 赤野毛排水路の円滑な雨水排除を行うため、宗岡第二中学校体育館脇から一般国道254号バイパス計画地までの未整備区間において、排水路整備に着手するための用地測量を行います。
- 新** 防災行政無線テレホンサービスの開設 [防災危機管理課] 4,645千円
 防災行政無線の放送内容が聞き取りにくいなどの問題を解決するため、現在実施している携帯電話のメール配信サービスに加え、放送した内容を電話で繰り返し聞くことができるサービスを開設します。

新 避難所の防災用便槽の整備 [防災危機管理課] 31,600 千円

災害時における下水道設備などの損壊への備えとして、避難所となる施設に設置を進めている防災用便槽について、平成29年度は宗岡第二小学校への設置工事を実施するとともに、平成30年度に設置を予定している宗岡第三小学校の設計を行います。

新 地域防災計画の改正 [防災危機管理課] 10,034 千円

地震や風水害など、あらゆる災害に備えるため、国や県が策定する最新の防災計画と一体となる「志木市地域防災計画」を改正します。この改正には、洪水のおそれがある場合に活用するタイムラインを盛り込むほか、地区災害対策本部マニュアルや職員初動マニュアル、避難所運営マニュアルもあわせて改正することで、より実効性のある計画とします。

新 歩道の快適化 [道路課] 34,000 千円

ノルディックウォーキング・ポールウォーキングコースをはじめ、市内の既存歩道における段差の解消、平坦性や有効幅員の確保など、誰もが安心して歩きやすい歩道の更新に着手します。平成29年度は、市道第2129号線（あきはね通り）ほか2路線の歩道改修を行います。

新 路面下空洞調査の実施 [道路課] 2,625 千円

交通量が多い主要な市道において、安全に通行できるよう、道路陥没を未然に防止するための路面下空洞調査を行います。

新 志木市下水道経営戦略の策定 [上下水道総務課] 7,032 千円

本市の下水道事業の現状と社会経済情勢の変化を踏まえ、下水道の使命を達成するための長期的な将来像を描く「志木市下水道経営戦略」を策定します。

新 「犯罪に強いまち志木」の推進 [市民活動推進課] 2,580 千円

「犯罪に強いまち志木」とするため、警察と連携し正確かつ迅速な情報提供を行うとともに、4つの中学校区を単位とした、地域・PTA・学校などによる自主防犯組織体制を整備します。また、犯罪抑止を目的とした推進会議などを行い、地域が連携した防犯活動を展開することにより、市内犯罪発生件数の減少を図ります。

新 新市庁舎の建設 [総務課] 72,000 千円

本市の重要課題であった市庁舎については、華美や無駄を省くなどの事業費の抑制を図りながら、「スマート」かつ「コンパクト」であり、市民に親しまれる市庁舎として、平成34年度の供用開始を目指してまいります。平成29年度は、総務部総務課内に「新庁舎建設推進室」を設置し、一層の推進体制を整え、新市庁舎建設工事に向けた基本設計を進めてまいります。

新 総合福祉センターの大規模改修 [福祉課] 419,479 千円

公共施設等マネジメント戦略に基づき、地域福祉サービスの向上を図るため、福祉センターの機能移転及び施設内の再配置を行うための内部大規模改修工事を実施します。

新 第二福祉センター浴室等の改修 [長寿応援課] 105,000 千円

利用者の皆様が安心して快適に利用できるよう、老朽化したボイラーや浴室等の施設及び設備の改修工事を実施します。

立地適正化計画の策定 [都市計画課] 6,054 千円

平成29年度中の策定を目指し、平成27年度から進めている立地適正化計画(※)の検討において、平成29年度は住宅等を誘導すべき区域として、居住誘導区域を設定します。

※今後の人口減少や超高齢社会を迎えるにあたり、将来にわたって都市機能を適正に維持管理していくためのまちづくり計画

「志木市デマンド交通」の推進 [都市計画課] 36,634 千円

自宅や公共施設や病院、商業施設などの間の移動において低額でタクシーを利用できる「志木市デマンド交通」を継続して実施し、高齢者や障がい者、妊婦、未就学児の子育て世帯などの移動手段を確保します。

中央通停車場線の整備促進 [都市計画課] 3,000 千円

県が施行する都市計画道路中央通停車場線の整備に対し、事業費の一部を負担し、都市機能の充実促進を図ります。平成29年度は、第3工区(昭和新道先～富士見大原線まで)の整備が開始されます。

道路環境の整備(舗装打換) [道路課] 100,000 千円

市道のわだち掘れやひび割れなどの総点検結果を踏まえて策定した舗装打換5か年計画に基づき、計画的に舗装の打換工事を実施します。また、段差やくぼみなど道路状況が悪化または劣化している箇所については、適宜、必要な補修・修繕工事を実施します。

橋りょうの耐震化 [道路課] 160,650 千円

公共施設安心・安全化計画(橋梁編)に基づき、富士下橋の耐震補強等工事を引き続き実施します。これにより、市内の橋長15m以上の道路橋6橋梁の耐震補強工事がすべて終了します。

宗岡志木環状線の整備 [道路課] 15,599 千円

都市計画道路宗岡志木環状線の整備に向け、県及び警察署との設計協議や、建物等物件移転の調査を行い、沿線住民等への事業説明会を開催するとともに、用地の取得を進めます。

- 生活道路快適化のための道路改良** [道路課] 46,597 千円
身近な生活道路における狭あい道路や水たまりなどの解消を図るため、道路拡幅と交通安全対策をあわせて行う生活道路快適化事業を推進します。平成29年度は、市道第2203号線道路改良工事のほか、市道第2001号線の用地路線測量を実施します。
- 安全で安心な水道水の供給** [水道施設課] 5,690 千円
市民の皆様に良質な水道水を供給するため、24時間体制で水質監視を行い、水道水の安全・安心を確保します。
- 水道施設の耐震化** [水道施設課] 207,960 千円
地震による被害に備え、市民生活への影響を最小限に抑えるため、被災時においても水道水を安定供給できるよう、水道本管の耐震化を進めます。
- 空き家等に対する総合的対策** [環境推進課] 7,914 千円
空き家の実態調査や所有者等への意向調査を進めるとともに、所有者が活用の意向がない空き家については、市が寄附採納を受けて建物の解体工事を実施することで、安全で安心なまちづくりを目指します。
- 可搬式ポンプの更新**【水害対策関連事業】 [防災危機管理課] 4,644 千円
水害対策のため、地域に設置している可搬式ポンプのうち、柏町1丁目の柳瀬川右岸堤防上に配備している150mmポンプ1台に加え、防災倉庫に配備している100mmポンプ4台を更新します。
- 自警消防隊小型動力消防ポンプの整備** [防災危機管理課] 2,052 千円
地域消防力の向上を図るため、老朽化に伴い計画的に更新している自警消防隊のうち、平成29年度は、市場町内会及び仲町町内会の小型動力消防ポンプを更新します。
- 排水機場ポンプゲートの修繕**【水害対策関連事業】 [道路課] 18,684 千円
排水機場施設の機能を維持するため、郷土排水機場1号ポンプ(500mm)のゲート修繕工事を行います。
- 防災用備蓄品の整備・充実** [防災危機管理課] 4,281 千円
災害発生時に備えた備蓄食糧の入替えを行うほか、避難所で使用するブルーシート、備蓄用発電機、防災用便槽の便器などを新たに整備します。

自主防災組織活動への支援 [防災危機管理課] 1,500 千円

災害時の被害軽減等を目的とし、地域住民自ら防災活動を行うために町内会単位で組織された自主防災組織の活動に対する補助金について、補助率を3分の2に拡充することで、町内会の負担を軽減し、更なる防災活動推進に繋げ、地域の防災力強化を図ります。

住宅の耐震化補助 [建築開発課] 36,000 千円

住宅の耐震化促進のため、戸建住宅の耐震診断、耐震改修、建替えや分譲マンションの耐震診断、耐震設計、耐震改修に対する補助を行います。

住宅の改修補助 [建築開発課] 3,000 千円

安全な住環境の整備と地域経済の活性化を図るため、市内業者が行う住宅の耐震改修工事に伴うリフォーム工事に対する補助を行います。また、市内業者が行う室内の段差解消や手すりの設置などのバリアフリー化工事に対する補助を行います。

志木市将来ビジョン施策大綱

5 健全でわかりやすい行政運営

- 5-1 健全な行財政のまちづくり
- 5-2 様々な情報にふれられるまちづくり

新 新行政改革プランの推進 [政策推進課・人事課・財政課] **ゼロ予算事業**

超高齢社会の進展や多様化する市民ニーズへの対応と効果的な行財政運営を図り、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進するため、徹底して無駄をそぎ落とし、時代の変化に即した改革に取り組みます。

新 市民会館・市民体育館整備手法比較検討調査
[政策推進課]・繰越事業 **28,000 千円**

耐震性能が不足している市民会館と市民体育館について、PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアチブ）の活用を含めた整備手法比較検討調査を実施します。

新 志木市公式 LINE@（ラインアット）の活用 [秘書広報課] **65 千円**

志木市公式 LINE@（ラインアット）について、LINE アプリの特性である登録や利用の手軽さを生かし、主に若い世代を対象に、効果的なプッシュ型情報発信を行うためのツールとして、更なる活用を図ります。

新…新規事業

新 シティプロモーション事業の推進 [秘書広報課] 200 千円

人口減少社会の中にあっても選ばれ続ける自治体を目指し、市内外へ本市の施策や子育て環境などのさまざまな魅力を積極的に発信するシティプロモーションを効果的に展開するため、必要な知識を習得することを目的とした横断的な職員研修を実施します。

生活改善型納税相談 [収納管理課] 474 千円

家計相談の専門家であるファイナンシャルプランナーによる納税相談を実施し、滞納者が抱える住宅ローンや過払い金などの金銭的問題を診断・整理することで家計環境の改善を図り、自主的な納付を促し、市税などの収入を確保します。

市税などの滞納整理の推進 [収納管理課] 6,850 千円

市税などのほか、介護保険料や保育園入園児童保護者負担金などの滞納債権について、事務の一元化を図り、効率的・効果的な徴収に取り組むほか、収納コールセンターのきめ細かな納付の呼びかけにより納税意識の高揚を図り、滞納の早期解消に努めます。

志木市ふるさと応援資金・特産品お届け事業

[財政課・産業観光課] 11,901 千円

市外から寄附をしていただいた方に贈呈する品として、本市の特色ある特産品を新たに追加し、本市の魅力を全国に発信していきます。また、全国から寄せられた寄附金は志木市まちづくりサポート基金に積み立て、寄附していただいた方の思いに沿った事業へ活用します。

まちづくりサポート基金活用事業

志木市では、平成28年3月に「志木市まちづくりサポート基金」を設置し、ふるさと応援資金をはじめとした全国から寄せられた寄附金を積み立てています。

平成29年度は基金を財源として以下の事業を実施し、寄附していただいた方からの「志木市のまちづくりを応援したい」という想いをかたちにします。

- ・ **可搬式ポンプの更新** [防災危機管理課] 1,944 千円
 配備から20年以上が経過している可搬式ポンプ4台の更新を行い、水害に強いまちづくりを進めていきます。
- ・ **志木市コミュニティ協議会貸出物品の充実** [市民活動推進課] 881 千円
 市民団体に貸出するテントやかき氷機などのイベント用品を購入し、さらなるコミュニティの醸成を図ります。
- ・ **いろは百歳体操用ビデオプロジェクター購入** [長寿応援課] 220 千円
 ビデオプロジェクターを導入し、いろは百歳体操をわかりやすく説明することで、地域での介護予防活動をより効果的なものとします。
- ・ **第二福祉センター用マッサージチェア購入** [長寿応援課] 660 千円
 マッサージチェアを更新し、第二福祉センターの利用環境を整備します。
- ・ **保育園・子育て支援センター備品の充実** [子ども家庭課] 4,669 千円
 折りたたみ式プールや遊具等を購入し、保育環境の充実を図ります。
- ・ **越流防止グレーチング蓋改修** [道路課] 1,000 千円
 集水枡の蓋の機能改善を行い、道路排水の機能向上を図ります。
- ・ **学校図書館図書 of 充実** [教育総務課] 2,904 千円
 百科事典や図鑑の充実を図り、主体的な学びを支援します。
- ・ **中学校部活動備品の充実** [教育総務課] 4,000 千円
 部活動備品の充実を図り、部活動の活性化を支援します。

【参考】まちづくりサポート基金各コース別残高（平成29年1月31日現在）

コース名称	金額
志木市におまかせ	9,673,760 円
環境保全・地域経済の充実	1,325,000 円
子育て支援・福祉環境の充実	7,370,000 円
都市基盤の充実	1,035,000 円
教育環境の充実	3,219,000 円
合 計	22,622,760 円

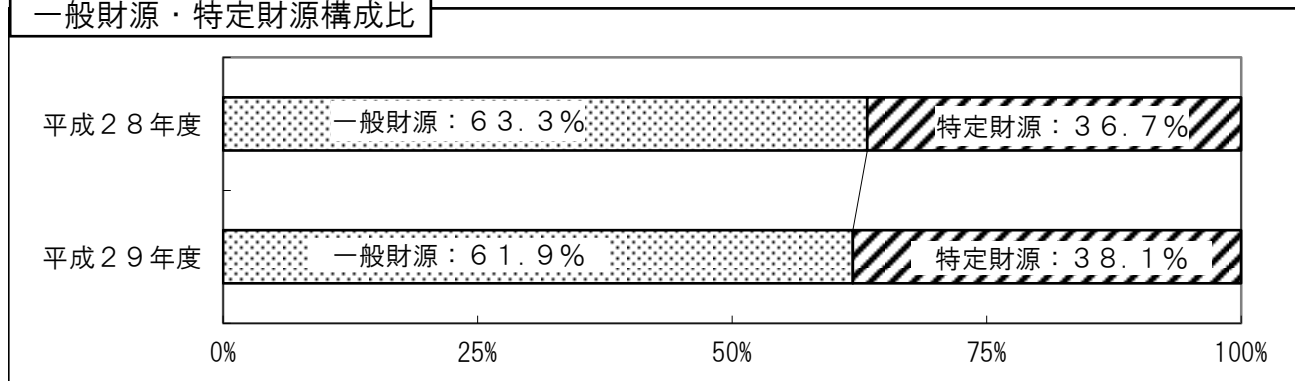
Ⅲ 平成29年度 一般会計の概要

1 歳 入

(単位：千円・%)

項 目	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
予 算 規 模 A	23,228,000	22,111,000	1,117,000	5.1
市 税	10,667,135	10,494,272	172,863	1.6
地 方 譲 与 税	98,000	99,000	▲ 1,000	▲ 1.0
利 子 割 交 付 金	6,000	14,000	▲ 8,000	▲ 57.1
配 当 割 交 付 金	49,000	67,000	▲ 18,000	▲ 26.9
株式等譲渡所得割交付金	36,000	24,000	12,000	50.0
ゴルフ場利用税交付金	2,600	2,600	0	0.0
地方消費税交付金	963,000	935,000	28,000	3.0
自動車取得税交付金	30,000	20,000	10,000	50.0
地方特例交付金	60,000	60,000	0	0.0
地 方 交 付 税	1,500,000	1,370,000	130,000	9.5
交通安全対策特別交付金	8,000	8,000	0	0.0
一 般 財 源 計 B (臨時財政対策債含む)	14,369,735	13,993,872	375,863	2.7
分 担 金 及 び 負 担 金	452,467	497,120	▲ 44,653	▲ 9.0
使用料及び手数料	90,198	89,474	724	0.8
国 庫 支 出 金	3,458,363	3,504,162	▲ 45,799	▲ 1.3
県 支 出 金	1,431,157	1,399,200	31,957	2.3
財 産 収 入	22,741	22,333	408	1.8
寄 附 金	7,502	15,002	▲ 7,500	▲ 50.0
繰 入 金	1,722,693	1,369,324	353,369	25.8
繰 越 金	400,000	400,000	0	0.0
諸 収 入	204,144	224,413	▲ 20,269	▲ 9.0
市 債 (うち臨時財政対策債)	2,019,000 (950,000)	1,496,100 (900,000)	522,900 (50,000)	35.0 (5.6)
特 定 財 源 計 (臨時財政対策債除く)	8,858,265	8,117,128	741,137	9.1
一般財源比率 B/A (%)	61.9	63.3		

一般財源・特定財源構成比



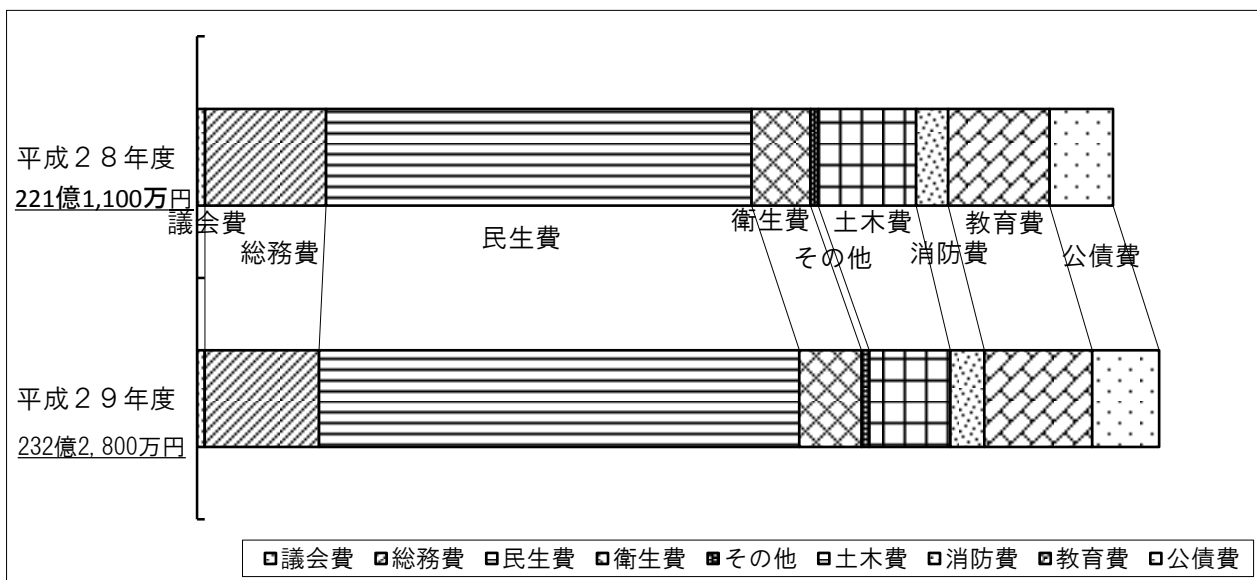
(注) ここでの一般財源は、国の地方財政対策に基づく分類であり、予算書の分類とは異なります。

2 歳 出 (目 的 別)

(単位：千円・%)

目 的 別	平成29年度		平成28年度		増減比較	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
議 会 費	183,364	0.8	190,094	0.9	▲ 6,730	▲ 3.5
総 務 費	2,764,051	11.9	2,924,050	13.2	▲ 159,999	▲ 5.5
民 生 費	11,594,567	49.9	10,274,119	46.5	1,320,448	12.9
衛 生 費	1,499,866	6.5	1,422,759	6.4	77,107	5.4
労 働 費	23,410	0.1	22,798	0.1	612	2.7
農 林 水 産 業 費	40,502	0.2	37,432	0.2	3,070	8.2
商 工 費	92,965	0.4	91,021	0.4	1,944	2.1
土 木 費	1,957,575	8.4	2,367,780	10.7	▲ 410,205	▲ 17.3
消 防 費	821,876	3.5	773,795	3.5	48,081	6.2
教 育 費	2,605,111	11.2	2,445,546	11.1	159,565	6.5
公 債 費	1,614,713	7.0	1,531,606	6.9	83,107	5.4
予 備 費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
合 計	23,228,000	100.0	22,111,000	100.0	1,117,000	5.1

(注) 構成比は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。

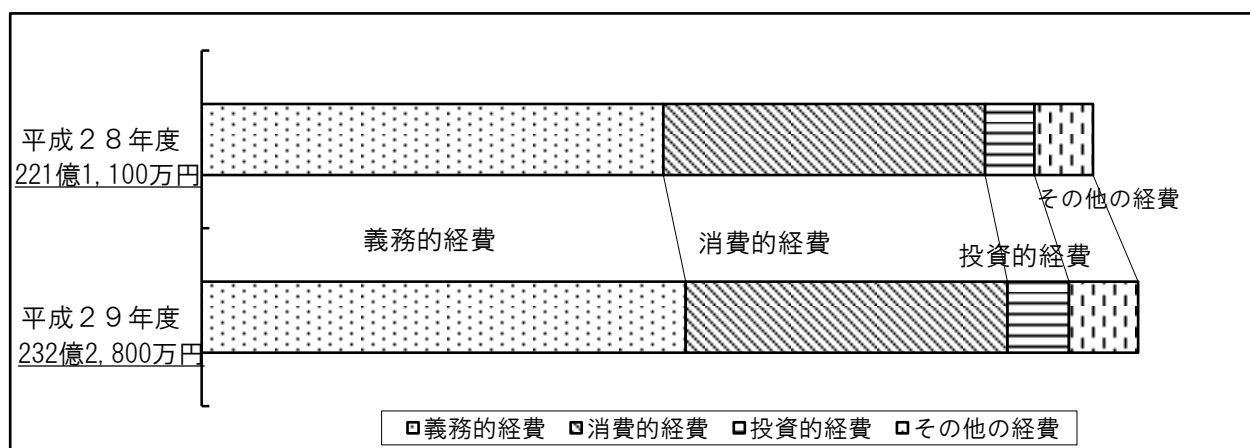


3 歳 出 (性 質 別)

(単位：千円・%)

性 質 別	平成29年度		平成28年度		増減比較		
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率	
義務的経費	人 件 費	3,818,346	16.4	3,742,922	16.9	75,424	2.0
	扶 助 費	6,574,473	28.3	6,180,090	28.0	394,383	6.4
	公 債 費	1,614,713	7.0	1,531,606	6.9	83,107	5.4
	計	12,007,532	51.7	11,454,618	51.8	552,914	4.8
消費的経費	物 件 費	4,060,903	17.5	3,946,110	17.8	114,793	2.9
	維 持 補 修 費	297,546	1.3	344,879	1.6	▲ 47,333	▲ 13.7
	補 助 費 等	3,620,992	15.6	3,685,459	16.7	▲ 64,467	▲ 1.7
	計	7,979,441	34.4	7,976,448	36.1	2,993	0.0
投資的経費	普通建設事業費 (補助事業)	229,338	1.0	463,644	2.1	▲ 234,306	▲ 50.5
	普通建設事業費 (単独事業)	1,297,686	5.6	758,586	3.4	539,100	71.1
	計	1,527,024	6.6	1,222,230	5.5	304,794	24.9
その他の経費	貸 付 金	40,491	0.2	49,912	0.2	▲ 9,421	▲ 18.9
	積 立 金	17,543	0.1	24,055	0.1	▲ 6,512	▲ 27.1
	繰 出 金	1,625,969	7.0	1,353,737	6.1	272,232	20.1
	予 備 費	30,000	0.1	30,000	0.1	0	0.0
	計	1,714,003	7.4	1,457,704	6.6	256,299	17.6
合 計	23,228,000	100.0	22,111,000	100.0	1,117,000	5.1	

(注) 構成比は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。



4 主な増減

(1) 歳入

① 市税は増収見込み↑ 対前年度比+1億7,286万円3千円(+1.6%)

市税は、全体的に前年度より増と見込みました。なお、歳入全体に占める割合は45.9%となっています。

(主な市税の増減)

市税の名称	予算額 (対前年度比)	主な増減の要因
個人市民税	5,074,364千円 (+126,074千円)	・雇用情勢の改善に伴う個人所得の増 ・マンションの新築などに伴う納税義務者の増
法人市民税	446,624千円 (+2,548千円)	・企業収益改善による増
固定資産税	4,091,109千円 (+45,116千円)	・大型マンション新築による家屋の増
軽自動車税	67,691千円 (+1,041千円)	・軽四輪乗用車の登録台数の増

② 国庫支出金は減少↓ 対前年度比▲4,579万9千円(▲1.3%)

袋橋及び宮戸橋の耐震化工事完了に伴い社会資本整備総合交付金が減となったことや、事業終了に伴い臨時福祉給付金補助金が減となったことなどにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

- ・子どものための教育・保育給付費負担金 : 545,453千円(対前年度比 + 62,967千円)
- ・自立支援介護・訓練等給付費負担金 : 443,661千円(対前年度比 + 33,227千円)
- ・臨時福祉給付金補助金 : 0千円(対前年度比 ▲ 52,840千円)
- ・社会資本整備総合交付金 : 62,130千円(対前年度比 ▲103,377千円)

③ 市債（借金）は増加↑

対前年度比+5億2,290万円（+35.0%）

市債（借金）は、総合福祉センター改修や柳瀬川図書館大規模改修に係る市債が増加したことにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・総合福祉センター改修事業債	: 366,100千円（対前年度比 +351,400千円）
・柳瀬川図書館大規模改修事業債	: 258,000千円（対前年度比 +258,000千円）
・第二福祉センター浴室等改修事業債	: 84,000千円（対前年度比 +84,000千円）
・宮戸橋耐震補強整備事業債	: 0千円（対前年度比 ▲35,000千円）
・市民体育館アリーナ床等改修事業債	: 0千円（対前年度比 ▲42,500千円）
・袋橋耐震補強等整備事業債	: 0千円（対前年度比 ▲169,900千円）

【参考】一般会計の市債残高の状況

年度	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末 （見込）	平成29年度末 （見込）
建設事業債	5,615,962千円	5,253,474千円	5,320,169千円	5,681,643千円
その他	9,871,993千円	10,157,222千円	10,385,054千円	10,595,927千円
合計	15,487,955千円	15,410,696千円	15,705,223千円	16,277,570千円

④ 繰入金は増加↑

対前年度比+3億5,336万9千円（+25.8%）

収支不足額が増加し、財政調整基金からの繰入金が前年度より増額となったことにより、繰入金全体も対前年度比で増となっています。

また、ふるさと応援資金等でいただいた寄附金を積み立てているまちづくりサポート基金から繰入を行い、寄附者の思いをかたちにできるように意向に沿った事業へ活用します。

【主な内容】

・財政調整基金繰入金	: 1,487,795千円（対前年度比 +279,032千円）
・公共施設安心安全化基金繰入金	: 215,018千円（対前年度比 +59,859千円）
・まちづくりサポート基金繰入金	: 16,278千円（対前年度比 +16,278千円）

【参考】一般会計の主な基金残高の状況

年度	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末 （見込）	平成29年度末 （見込）※
財政調整基金	2,694,848千円	2,640,770千円	2,466,861千円	980,066千円
公共施設安心安全化基金	1,817,699千円	2,195,336千円	2,666,102千円	2,453,084千円

※財政調整基金、公共施設安心安全化基金ともに、平成29年度末残高見込みには利子積立金を含む。

(2) 歳出（目的別）

① 総務費は減少↓ 対前年度比▲1億5,999万9千円（▲5.5%）

市民会館ホール棟配電盤改修工事、防犯灯設置及び取替工事費補助金等が減額となったことなどにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・市民会館ホール棟配電盤改修工事	:	0千円（対前年度比	▲55,620千円）
・防犯灯設置及び取替工事費補助金	:	1,500千円（対前年度比	▲46,542千円）
・戸籍証明コンビニ交付システム構築	:	0千円（対前年度比	▲39,528千円）

② 民生費は増加↑ 対前年度比+13億2,044万8千円（+12.9%）

当初予算としては、平成15年度以降15年連続で増加を続けています。平成28年度に続き100億円を突破しています。

総合福祉センター及び第二福祉センターの改修や民間保育園等の新規開設に伴う民間保育園の助成等の増加などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・総合福祉センター改修工事	:	400,000千円（対前年度比	+400,000千円）
・民間保育園の助成等	:	1,859,756千円（対前年度比	+327,217千円）
・国民健康保険特別会計繰出金	:	824,860千円（対前年度比	+264,750千円）
・第二福祉センター浴室等改修工事	:	100,000千円（対前年度比	+100,000千円）

③ 土木費は減少↓ 対前年度▲4億1,020万5千円（▲17.3%）

袋橋及び宮戸橋の耐震化工事完了による減のほか、下水道事業への負担金・補助金の減、旧朝霞水路排水ポンプ等撤去工事が完了したことによる減などにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・橋りょうの耐震化	:	163,458千円（対前年度比	▲403,434千円）
・下水道事業負担金・補助金	:	785,000千円（対前年度比	▲65,000千円）
・旧朝霞水路排水ポンプ等撤去工事	:	0千円（対前年度比	▲27,000千円）

④ 教育費は増加↑ 対前年度比+1億5,956万5千円（+6.5%）

柳瀬川図書館大規模改修工事の実施や、市内すべての中学校にICTネットワークの整備を実施することにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・柳瀬川図書館大規模改修工事	:	344,000千円（対前年度比	+344,000千円）
・中学校ICTネットワーク整備	:	20,593千円（対前年度比	+18,793千円）
・宗岡第四小学校校舎増築工事設計	:	16,000千円（対前年度比	+16,000千円）
・柳瀬川図書館大規模改修工事設計	:	0千円（対前年度比	▲19,656千円）
・市民体育館アリーナ床等改修工事	:	0千円（対前年度比	▲44,400千円）
・八ヶ岳自然の家受水槽等更新工事	:	0千円（対前年度比	▲48,600千円）

(3) 歳出（性質別）

① 物件費は増加↑ 対前年度比+1億1,479万3千円（+2.9%）

定員数の拡充に伴う学童保育クラブ運営委託料の増加や、道路の排水施設や空洞化調査の実施などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・学童保育クラブ運営委託料	: 271,930千円（対前年度比 +80,355千円）
・道路橋りょう維持管理委託料	: 110,172千円（対前年度比 +20,480千円）

② 扶助費は増加↑ 対前年度比+3億9,438万3千円（+6.4%）

民間保育園等の新規開設に伴う民間保育園の運営助成等の増加や自立支援介護・訓練等給付費の増加などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・民間保育園の運営助成等	: 1,697,220千円（対前年度比 +298,864千円）
・自立支援介護・訓練等給付費	: 887,323千円（対前年度比 +66,452千円）

③ 補助費等は減少↓ 対前年度比▲6,446万7千円（▲1.7%）

下水道事業への負担金・補助金や、臨時福祉給付金の減などにより、対前年度比で減となっています。

【主な内容】

・下水道事業負担金・補助金	: 785,000千円（対前年度比 ▲65,000千円）
・臨時福祉給付金	: 0千円（対前年度比 ▲59,700千円）

④ 普通建設事業費は増加↑ 対前年度比+3億479万4千円（+24.9%）

総合福祉センター改修工事や柳瀬川図書館大規模改修工事の実施などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・総合福祉センター改修工事	: 400,000千円（対前年度比 +400,000千円）
・柳瀬川図書館大規模改修工事	: 344,000千円（対前年度比 +344,000千円）
・宮戸橋耐震補強工事	: 0千円（対前年度比 ▲126,360千円）
・袋橋耐震補強等工事	: 0千円（対前年度比 ▲285,120千円）

⑤ 繰出金は増加↑ 対前年度比+2億7,223万2千円（+20.1%）

国民健康保険特別会計への繰出金の増などにより、対前年度比で増となっています。

【主な内容】

・国民健康保険特別会計繰出金	: 824,860千円（対前年度比 +264,750千円）
----------------	-------------------------------

IV 平成29年度 特別会計・企業会計の概要

1 特別会計・企業会計の予算概要

(1) 特別会計

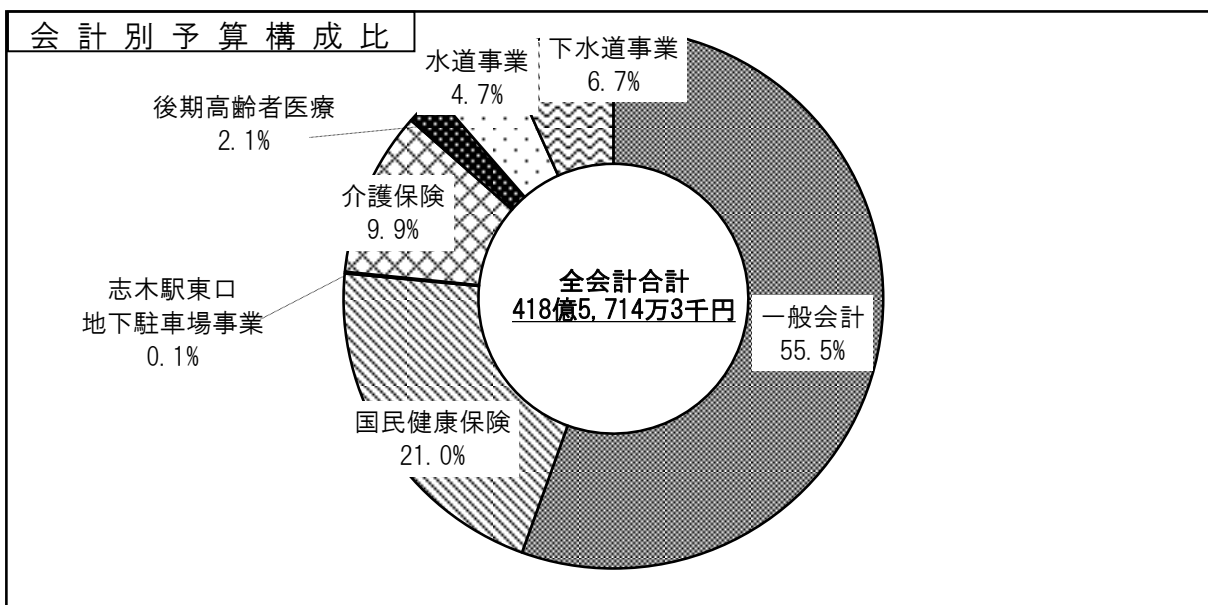
(単位：千円・%)

会計名称	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
国民健康保険	8,798,756	8,745,952	52,804	0.6
志木駅東口 地下駐車場事業	49,159	59,716	▲ 10,557	▲ 17.7
介護保険	4,137,462	4,178,796	▲ 41,334	▲ 1.0
後期高齢者医療	859,148	806,820	52,328	6.5
合計	13,844,525	13,791,284	53,241	0.4

(2) 企業会計

(単位：千円・%)

会計名称	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
水道事業	1,985,750	2,208,740	▲ 222,990	▲ 10.1
下水道事業	2,798,868	2,915,280	▲ 116,412	▲ 4.0
合計	4,784,618	5,124,020	▲ 339,402	▲ 6.6



(3) 各会計への一般会計からの繰出状況

(単位：千円・%)

会計名称	平成29年度	平成28年度	増減額	増減率
国民健康保険	824,860	560,110	264,750	47.3
介護保険	655,782	657,670	▲ 1,888	▲ 0.3
後期高齢者医療	145,327	135,957	9,370	6.9
水道事業	5,833	3,630	2,203	60.7
下水道事業	785,000	850,000	▲ 65,000	▲ 7.6
合計	2,416,802	2,207,367	209,435	9.5

2 特別会計の概要

(単位：千円)

会計名称	予算額	本年度予算の主な内容			
国民健康保険	8,798,756	(歳入)		(歳出)	
		1 国民健康保険税	1,703,185	1 総務費	73,403
		2 手数料	20	2 保険給付費	5,076,521
		3 国庫支出金	1,490,192	3 後期高齢者支援金等	974,371
		4 療養給付費等交付金	69,331	4 前期高齢者納付金等	3,551
		5 前期高齢者交付金	1,877,291	5 老人保健拠出金	130
		6 県支出金	325,726	6 介護納付金	371,948
		7 共同事業交付金	2,137,342	7 共同事業拠出金	2,122,669
		8 財産収入	2	8 保健事業費	155,553
		9 繰入金	1,155,736	9 基金積立金	50
		(1)一般会計繰入金	824,860	10 公債費	400
		(2)基金繰入金	330,876	11 諸支出金	10,160
10 繰越金	20,010	12 予備費	10,000		
11 諸収入	19,921				
<p>【予算の概要】</p> <p>予算額は、歳入歳出とも87億9,875万6千円で、前年度と比較して5,280万4千円、0.6%の増となっています。主な要因は、一般被保険者の保険給付費や、共同事業拠出金などの増によるものです。社会保険の適用拡大などから、被保険者数は減少していることにより、保険税収入は減少すると見込んでい</p> <p>る一方で、高齢化や高額薬剤の影響等で保険給付費は増加すると見込んでおります。保険税収入で不足する財源を、保険給付費支払基金からの繰入れで補てんすることとしています。</p>					
志木駅東口 地下駐車場事業	49,159	1 財産収入	43	1 駐車場事業費	3,760
		2 基金繰入金	5,096	2 公債費	43,399
		3 繰越金	10	3 予備費	2,000
		4 諸収入	44,010		
		(指定管理者納付金等)			
<p>【予算の概要】</p> <p>予算額は、歳入歳出とも4,915万9千円で、前年度と比較して1,055万7千円、17.7%の減となっています。歳入は指定管理者からの納付金、歳出は建設に伴う借入金の返済が主なものとなっています。</p>					

(単位：千円)

会計名称	予算額	本年度予算の主な内容			
介護保険	4,137,462	(歳入)		(歳出)	
		1 介護保険料	978,821	1 総務費	99,521
		2 国庫支出金	745,460	2 保険給付費	3,753,542
		3 支払基金交付金	1,081,039	3 地域支援事業費	280,510
		4 県支出金	593,496	4 財政安定化基金拠出金	1
		5 財産収入	10	5 基金積立金	10
		6 繰入金	738,566	6 公債費	667
		(1)一般会計繰入金	655,782	7 諸支出金	2,211
		(2)基金繰入金	82,784	8 予備費	1,000
		7 繰越金	10		
8 諸収入	60				
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも41億3,746万2千円で、前年度と比較して4,133万4千円、1.0%の減となっています。 主な要因は、保険給付費を介護予防・日常生活支援総合事業の開始及び決算見込額をもとに見直したことによるものですが、給付実績ベースでは、依然として保険給付費は伸び続けています。					
後期高齢者医療	859,148	1 後期高齢者医療保険料	690,018	1 総務費	22,348
		2 一般会計繰入金	145,327	2 広域連合納付金	813,499
		3 繰越金	20,000	3 諸支出金	3,301
		4 諸収入	3,803	4 予備費	20,000
【予算の概要】 予算額は、歳入歳出とも8億5,914万8千円で、前年度と比較して5,232万8千円、6.5%の増となっています。 主な要因は、被保険者数増加により支出が増加しているものです。 主な支出は、埼玉県後期高齢者医療広域連合への納付金等となっています。					

3 企業会計の概要

(1) 水道事業会計

《収益的収入及び支出》

(単位：千円 税込)

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	2 9 年 度	2 8 年 度			
水道事業収益	1,359,327	1,337,562	21,765	1.6	
営業収益	1,283,195	1,264,364	18,831	1.5	水道料金 1,071,100 加入金 150,184 他会計負担金 4,903 他
営業外収益	76,131	73,197	2,934	4.0	長期前受金戻入 73,991 預金利息 501 他
特別利益	1	1	0	0.0	
水道事業費用	1,359,327	1,337,562	21,765	1.6	
営業費用	1,266,448	1,249,544	16,904	1.4	原水及び浄水費 510,373 配水及び給水費 135,409 業務費 81,012 総係費 69,731 減価償却費 464,761 他
営業外費用	80,877	76,016	4,861	6.4	企業債利息 62,105 支払消費税 18,762 雑支出 10
特別損失	2	2	0	0.0	過年度損益修正損 1 特別損失 1
予備費	12,000	12,000	0	0.0	
差 引	0	0	0		

《資本的収入及び支出》

(単位：千円 税込)

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	2 9 年 度	2 8 年 度			
資本的収入	20,179	18,406	1,773	9.6	
補助金	18,250	14,750	3,500	23.7	補助金（生活基盤施設耐震化等交付金）
負担金	1,929	3,656	△ 1,727	△ 47.2	一般会計負担金（消火栓設置工事費負担金） 929 工事費負担金 1,000
資本的支出	626,423	871,178	△ 244,755	△ 28.1	
建設改良費	414,372	664,638	△ 250,266	△ 37.7	改良工事費 207,960 施設改良費 204,050 量水器費 2,362
企業債償還金	212,051	206,540	5,511	2.7	企業債元金 212,051
差 引	△ 606,244	△ 852,772	246,528		

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 606,244千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 30,517千円、過年度分損益勘定留保資金 575,727千円で補填するものとする。

《借入企業債残高及び償還内訳》

(単位：千円)

年度	年度末 企業債残高	元 金	利 子	合 計
28	2,654,749	206,540	67,615	274,155
29	2,442,699	212,050	62,104	274,154
30	2,224,968	217,731	56,423	274,154
31	2,001,381	223,587	50,567	274,154

《1立方メートル当たりの供給単価及び給水原価 税込》

区 分	29年度	28年度	
供給単価	151円20銭	150円12銭	給水収益 有収水量
給水原価	181円44銭	177円96銭	経常費用－長期前受金戻入 有収水量
差 額	△30円24銭	△27円84銭	

(2) 下水道事業会計

《収益の収入及び支出》

(単位：千円 税込)

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	2 9 年 度	2 8 年 度			
下水道事業収益	1,993,994	2,016,265	△ 22,271	△ 1.1	
営業収益	1,237,109	1,254,382	△ 17,273	△ 1.4	下水道使用料 857,764 雨水処理負担金 294,099 他
営業外収益	756,883	761,882	△ 4,999	△ 0.7	他会計補助金48,191 他会計負担金132,937 長期前受金戻入 575,304 他
特別利益	2	1	1	100.0	
下水道事業費用	1,993,994	2,016,265	△ 22,271	△ 1.1	
営業費用	1,748,223	1,753,036	△ 4,813	△ 0.3	管渠費(汚水・雨水) 147,360ポンプ場費(汚水・雨水) 79,644 館第一排水ポンプ場費155,058 総係費179,533 流域下水道維持管理費315,000 減価償却費871,627 他
営業外費用	225,769	243,227	△ 17,458	△ 7.2	企業債利息155,502 支払消費税60,000 他
特別損失	2	2	0	0.0	
予備費	20,000	20,000	0	0.0	
差 引	0	0	0		

《資本的収入及び支出》

(単位：千円 税込)

区 分	予 算 額		比 較	増減率 (%)	説 明
	2 9 年 度	2 8 年 度			
資本的収入	449,455	547,380	△ 97,925	△ 17.9	
企業債	116,500	137,700	△ 21,200	△ 15.4	公共・流域下水道事業債 116,500
他会計負担金	62,407	127,708	△ 65,301	△ 51.1	他会計負担金 62,407
負担金	12,415	39,670	△ 27,255	△ 68.7	工事負担金 12,408 受益者負担金 7
他会計補助金	247,366	224,615	22,751	10.1	他会計補助金 247,366
補助金	0	8,000	△ 8,000	△ 100.0	
貸付金償還金	2,500	2,500	0	0.0	水洗便所改造資金融資預託金元金収入 2,500
諸収入	8,267	7,187	1,080	15.0	館第一排水ポンプ場維持管理費剰余金 8,267
資本的支出	804,874	899,015	△ 94,141	△ 10.5	
建設改良費	154,952	241,862	△ 86,910	△ 35.9	汚水・雨水管渠整備費 95,559 雨水ポンプ場整備費 3,382 館第一排水ポンプ場整備費24,000 流域下水道整備費32,011
積立金	8,267	8,687	△ 420	△ 4.8	館第一排水ポンプ場管理基金 8,267
貸付金	2,500	2,500	0	0.0	水洗便所改造資金融資預託金 2,500
企業債償還金	639,155	645,966	△ 6,811	△ 1.1	企業債元金 639,155
差 引	△ 355,419	△ 351,635	△ 3,784		

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額355,419千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額11,476千円、過年度分及び当年度分損益勘定留保資金343,943千円で補填するものとする。

《借入企業債残高及び償還内訳》

(単位：千円)

年度	年度末 企業債残高	元 金	利 子	合 計
28	5,646,495	645,966	177,053	823,019
29	5,093,341	639,155	154,515	793,670
30	4,483,942	609,399	134,518	743,917
31	3,921,802	562,140	112,622	674,762

《1立方メートル当たりの使用料単価及び汚水処理原価 税込》

区 分	2 9 年 度	2 8 年 度
使用料単価	121円81銭	121円80銭
汚水処理原価	167円82銭	166円86銭
差 額	△46円01銭	△45円06銭

----- 下水道使用料
有収水量
----- 汚水処理費
有収水量